

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		富山大学		設置者名	国立大学法人 富山大学								
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成20年度)								
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業生数	免許状取得者数		教員 就職者数					
						実数	個別						
人文学部	人文学科	185人	中一種免(国語)	平成18年度									
			高一種免(国語)	平成18年度									
			中一種免(社会)	平成18年度									
			高一種免(地理歴史)	平成18年度									
			高一種免(公民)	平成18年度									
			中一種免(英語)	平成18年度									
			高一種免(英語)	平成18年度									
			中一種免(ドイツ語)	平成18年度									
			高一種免(ドイツ語)	平成18年度									
			中一種免(ロシア語)	平成18年度									
			高一種免(ロシア語)	平成18年度									
			中一種免(中国語)	平成18年度									
高一種免(中国語)	平成18年度												
人間発達 科学部	発達教育学科	80人	幼一種免	平成18年度									
			小一種免	平成18年度									
			特支一種免(知・肢・病)	平成19年度									
	人間環境システム学科		90人	中一種免(社会)					平成18年度				
				高一種免(地理歴史)					平成18年度				
				高一種免(公民)					平成18年度				
				中一種免(数学)					平成18年度				
				高一種免(数学)					平成18年度				
				中一種免(理科)					平成18年度				
				高一種免(理科)					平成18年度				
中一種免(保健体育)	平成18年度												

人間発達 科学部	人間環境システ ム学科		高一種免(保健体育)	平成18年度					
			中一種免(家庭)	平成18年度					
			高一種免(家庭)	平成18年度					
			高一種免(情報)	平成18年度					
			中一種免(英語)	平成18年度					
			高一種免(英語)	平成18年度					
経済学部	経済学科 昼間主コース	135人	高一種免(公民)	平成18年度					
	経済学科 夜間主コース	20人	高一種免(公民)	平成18年度					
	経営学科 昼間主コース	115人	高一種免(商業)	平成18年度					
	経営学科 夜間主コース	20人	高一種免(商業)	平成18年度					
	経営法学科 昼間主コース	95人	高一種免(公民)	平成18年度					
	経営法学科 夜間主コース	20人	高一種免(公民)	平成18年度					
	理学部	数学科	50人	中一種免(数学)	平成18年度				
高一種免(数学)				平成18年度					
物理学科		40人	中一種免(理科)	平成18年度					
			高一種免(理科)	平成18年度					
化学科		35人	中一種免(理科)	平成18年度					
			高一種免(理科)	平成18年度					
生物学科		35人	中一種免(理科)	平成18年度					
			高一種免(理科)	平成18年度					
地球科学科		40人	中一種免(理科)	平成18年度					
			高一種免(理科)	平成18年度					
生物圏環境科学 科		30人	中一種免(理科)	平成18年度					
			高一種免(理科)	平成18年度					
工学部		電気電子システ ム工学科	88人	高一種免(工業)	平成18年度				
		知能情報工学科	72人	高一種免(工業)	平成18年度				
	機械知能システ ム工学科	90人	高一種免(工業)	平成18年度					
	生命工学科	52人	高一種免(工業)	平成20年度					
	環境応用化学科	52人	高一種免(工業)	平成20年度					
	材料機能工学科	51人	高一種免(工業)	平成20年度					
芸術文化 学部	芸術文化学科	115人	中一種免(美術)	平成18年度					
			高一種免(美術)	平成18年度					
入学定員合計		1,510人	合計		人	人	人	人	

大学名	富山大学(大学院)		設置者名	国立大学法人 富山大学				
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成20年度)			
研究科	専攻等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業生数	免許状取得者数		教員就職者数
						実数	個別	
人文科学研究科	文化構造研究専攻	5人	中専免(社会)	平成18年度	8人	0人	0人	0人
			高専免(地理歴史)	平成18年度			0人	
			高専免(公民)	平成18年度			0人	
	地域文化研究専攻	5人	中専免(社会)	平成18年度	6人	1人	0人	1人
			高専免(地理歴史)	平成18年度			0人	
			中専免(国語)	平成18年度			1人	
			高専免(国語)	平成18年度			1人	
			中専免(英語)	平成18年度			0人	
			高専免(英語)	平成18年度			0人	
			中専免(中国語)	平成18年度			0人	
			高専免(中国語)	平成18年度			0人	
			中専免(ドイツ語)	平成18年度			0人	
			高専免(ドイツ語)	平成18年度			0人	
			教育学研究科	学校教育専攻 学校教育専修			6人	
小専免	平成18年度	2人						
中専免(国語)	平成18年度	0人						
高専免(国語)	平成18年度	0人						
高専免(書道)	平成18年度	0人						
中専免(社会)	平成18年度	0人						
高専免(地理歴史)	平成18年度	0人						
高専免(公民)	平成18年度	0人						
中専免(数学)	平成18年度	1人						
高専免(数学)	平成18年度	1人						
中専免(理科)	平成18年度	0人						
高専免(理科)	平成18年度	0人						
中専免(音楽)	平成18年度	0人						
高専免(音楽)	平成18年度	0人						
中専免(美術)	平成18年度	0人						
高専免(美術)	平成18年度	0人						
中専免(保健体育)	平成18年度	1人						

教育学研究科	学校教育専攻 学校教育専修		高専免(保健体育)	平成18年度			1人	
			中専免(技術)	平成18年度			0人	
			中専免(家庭)	平成18年度			0人	
			高専免(家庭)	平成18年度			0人	
			中専免(英語)	平成18年度			0人	
			高専免(英語)	平成18年度			0人	
			特支専免(知・肢・病)	平成19年度			0人	
	教育科学専攻 国語教育専修	32人	幼専免	平成18年度	24人	19人	0人	13人
			小専免	平成18年度			0人	
			中専免(国語)	平成18年度			1人	
			高専免(国語)	平成18年度			1人	
	教育科学専攻 社会科教育専修		小専免	平成18年度			2人	
			中専免(社会)	平成18年度			3人	
			高専免(地理歴史)	平成18年度			0人	
			高専免(公民)	平成18年度			1人	
	教育科学専攻 数学教育専修		幼専免	平成18年度			0人	
			小専免	平成18年度			0人	
			中専免(数学)	平成18年度			0人	
			高専免(数学)	平成18年度			0人	
	教育科学専攻 理科教育専修		小専免	平成18年度			1人	
			中専免(理科)	平成18年度			3人	
			高専免(理科)	平成18年度			2人	
	教育科学専攻 音楽教育専修		幼専免	平成18年度			0人	
			小専免	平成18年度			2人	
			中専免(音楽)	平成18年度			3人	
			高専免(音楽)	平成18年度			2人	
	教育科学専攻 美術教育専修		幼専免	平成18年度			0人	
			小専免	平成18年度			0人	
			中専免(美術)	平成18年度			1人	
			高専免(美術)	平成18年度			1人	
	教育科学専攻 保健体育専修		幼専免	平成18年度			0人	
			小専免	平成18年度			0人	
	中専免(保健体育)		平成18年度	1人				
	高専免(保健体育)		平成18年度	1人				

教育学研究科	教育科学専攻 技術教育専修		中専免(技術)	平成18年度			0人	
			小専免	平成18年度			1人	
			中専免(家庭)	平成18年度			1人	
			高専免(家庭)	平成18年度			1人	
	教育科学専攻 英語教育専修		中専免(英語)	平成18年度			3人	
			高専免(英語)	平成18年度			3人	
経済学研究科	地域・経済政策 専攻	4人	中専免(社会)	平成18年度			0人	
			高専免(地理歴史)	平成18年度	4人	0人	0人	0人
			高専免(公民)	平成18年度			0人	
	企業経営専攻	4人	高専免(商業)	平成18年度	16人	0人	0人	0人
理工学教育部	数学専攻	12人	中専免(数学)	平成18年度	10人	8人	4人	2人
			高専免(数学)	平成18年度			8人	
	物理学専攻	12人	中専免(理科)	平成18年度	12人	1人	1人	0人
			高専免(理科)	平成18年度			1人	
	化学専攻	10人	中専免(理科)	平成18年度	17人	0人	0人	0人
			高専免(理科)	平成18年度			0人	
	生物学専攻	10人	中専免(理科)	平成18年度	13人	0人	0人	0人
			高専免(理科)	平成18年度			0人	
	地球科学専攻	10人	中専免(理科)	平成18年度	7人	1人	1人	0人
			高専免(理科)	平成18年度			1人	
	生物圏環境科学 専攻	10人	中専免(理科)	平成18年度	14人	0人	0人	0人
			高専免(理科)	平成18年度			0人	
	電気電子システム工学専攻	33人	高専免(工業)	平成18年度	38人	3人	3人	0人
	知能情報工学専攻	27人	高専免(工業)	平成18年度	31人	1人	1人	0人
機械知能システム工学専攻	33人	高専免(工業)	平成18年度	27人	0人	0人	0人	
物質生命システム工学専攻	60人	高専免(工業)	平成18年度	58人	2人	2人	0人	
入学定員合計		273人	合計		288人	38人	64人	18人
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成21年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄には各学科等の実人数を、「個別」欄には各学科等内の教職課程ごとの人数である。							

実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成21年7月2日（木）

実地視察大学：富山大学

実地視察委員：大坪治彦委員、大原正行委員、渡辺三枝子委員

■ 大学の教員養成に対する全般的な状況

<状況>

- ・平成17年10月に富山医科薬科大学と高岡短期大学と統合し、2キャンパス（五福・高岡）にわたって、大学においては6学部19学科、大学院においては4研究科16専攻で教員養成を行っている。
- ・旧教育学部の教員養成機能を最大限引き継いだ人間発達科学部が教員養成の中核的役割を果たしている。

<講評>

- ・教員養成に関する教育課程、教員組織等については、全般的に基準を満たしており、良好に実施されている。特に、人間発達科学部の教員養成に関する積極的な取り組みを高く評価したい。一方、人間発達学部と他学部とで教員養成に対する意識の乖離が見られるため、今後は人間発達科学部と他学部との連携を基にした取り組みに期待したい。

■ 教員養成に対する理念、設置の趣旨等の状況

<状況>

- ・教育目標として「高い使命感と創造力のある人材の育成」を掲げ、教育目標に基づいて、「豊かな人間性と、21世紀の教育課題に応えることのできる創造力のある教員」「教職の仕事に高い使命感を持つ教員」「総合大学ならではの得意分野を持つ個性豊かな教員」を養成している。

<講評>

- ・教員養成に対する理念や構想が示されているが、それを明確化・具体化するために、教職課程に対する全学的な組織、教育課程や教員組織がより一層充実したものとなるように、今後も努めてほしい。

■ 教育課程（教職に関する科目等）、履修方法及びシラバスの状況

<講評>

- ・授業科目「教職と教育（人間環境）」について、各科目に含めることが必要な事項である「研修、サービス及び身分保障等」及び「進路指導に資する各種の機会の提供等」がどの授業において取り扱うのか不明であるため、確認することができるようにシラバスを修正してほしい。
- ・「各教科の指導法」に該当する授業科目においては、テキストに学習指導要領を使用してほしい。
- ・「各教科の指導法」に該当する授業科目において、指導案の作成や模擬授業等がシラバスに記載されていないものが複数見受けられるが、実践的な指導力を身に付

けるために、指導案の作成や模擬授業を行うことが望まれる。

- ・授業内容欄を「〇回～〇回」とまとめて記載しているシラバスについては、各回のキーワードを明記してほしい。

- ・「教科書・参考書等」欄など、空欄となっている項目が散見されるため、なければ「なし」と明記してほしい。

- ・出席を評価に加えている授業があるが、原則として授業に出席することが通常のため、出席を評価に加えないでほしい。

- ・特別支援教育学校教諭の教職課程において、教育職員免許法施行規則第7条第1項表第3欄の「免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目」について、心理等及び教育課程等の双方の科目が開設されていること又は双方の内容を含む科目が開設されていることを確認してほしい。

■ 教育実習の取組状況

<状況>

- ・教育実習校の確保の方法について、人間発達科学部においては附属学校や県内協力校に依頼し、その他の学部においては原則的に学生の出身校に依頼している。

- ・教育実習生に対する指導方法について、人間発達科学部においては各実習校に人間発達科学部教員を派遣し指導助言を行っており、その他の学部においては基本的に実習校が行っている。

<講評>

- ・平成18年7月の中教審答申「今後の教員養成・免許制度の在り方について」では、教育実習においては、課程認定大学と実習校の協力により、授業案を作成したり、教材研究の指導を行うなど、大学の教員と実習校の教員が連携して指導に当たる機会を積極的に取り入れることが必要である。また、実習実績の評価についても、適切な役割分担の下に、協働して行うことが適当であるが、その場合には、実習校により評価にばらつきが生じないように留意する必要がある。

- ・母校実習については、平成18年7月答申において、大学側の対応や評価の客観性の確保の点で課題も指摘されているため、できるだけ避ける方向で検討してほしい。

- ・教育実習の総時間数や実習生に対する指導方法などにおいて、人間発達科学部とそれ以外の学部で取り組み内容に大差が見られるため、今後は人間発達科学部と他学部との連携を基にした取り組みに期待したい。

■ 学校現場体験・学校ボランティア活動などの取組状況

<状況>

- ・「学校現場体験」として教職課程科目に「学級担任論」を設けている。これは、教員志望学生が実際の学級担任教師の日常的職務活動の具体的場面に直接参加し、学級担任としての学級経営や、学習や行動上気になる子どもの支援についてのリアリティを獲得することを通して、自身の教師としての資質や能力等の向上を図る講座である。具体的には、県内小学校に「学びのアシスト」もしくは「スタディメイト・ジュニア」として参加している。

「学びのアシスト」：放課後等における児童生徒の個別指導、授業や教材作成の補助及び教室環境づくりなど児童生徒の学習活動に係る補助的な活動を同一校において一年間継続して行う、平成18年度より全国に先駆けて発足した事

業。この事業の一環として、配置校において学級担任支援活動を進める学生のためのEメール活用相談を実施している。

「スタディメイト・ジュニア」：県教育委員会や市町村教育委員会及び富山大学人間発達科学部の連携協力に基づき、教員志望の大学生をLD（学習障害）やADHD（注意欠陥多動性障害）、高機能自閉症を含む障害のある児童の学校生活を支援する支援員。教員志望大学生の資質能力の向上を図ることにより教員養成機能の充実を目指す。

・「学校ボランティア活動」として教職課程科目に「ボランティア体験」等を設けている。また、小学校教員採用試験の受験を予定している学生（4年生及び院生）で希望する者を対象として、附属小学校において、自分が受け持つ学級の担任と行動をともにし、授業、給食、行事、研究会、会議、事務処理等を手伝いながら、小学校教員の仕事の全容を学ぶ「教生先生こんにちは！！」という事業を行っている。

<講評>

・非常に多くのプログラムを用意し、また退職教員の活用も積極的に行っており、高く評価できる。ただし、活動対象が人間発達科学部の学生に偏っているため、今後は他学部との連携を基にした取り組みに期待したい。

■ 教職指導及びその指導体制の状況

<状況>

・年度当初の科目履修オリエンテーションにおいて、科目履修規程やカリキュラム表、科目履修方法等を学生へ説明して周知を図っている。その後は、各学部の責任のもと、教務担当者や指導教員等を中心に履修指導を行っている。

<講評>

・学部によって教員免許取得者数に大きな隔たりがあるため、他学部との連携協力などをもとに、さらに体系的・組織的な指導体制を構築してほしい。

■ 教員養成カリキュラム委員会などの全学的組織の状況

<状況>

・大学全体の教職課程の質の向上の検討ならびに学生に対する教職指導に責任を持つ組織として、「教育担当理事室」に「教職関係タスクチーム」が設置されている。責任者は教育担当理事で、タスクチームは教育担当理事室の室員と関係教職員で組織されている。タスクチームにおいては、富山大学における教職カリキュラムならびに教職教育の実施体制のあり方やその改善方策について検討するとともに、毎年
の教職教育が円滑に実施されるように実務的調整に当たっている。

■ 施設・設備（図書等を含む。）の状況

<状況>

・学内施設・設備、教育機器等は、学生数の規模に応じて整備されている。

<講評>

・教職に関する科目に係る図書が充足されているとは言えないため、学習指導要領や教科書の集書に努めるなど、図書の拡充を図ってほしい。